

調匠 十返舎一九撰  
松陰堂書

歩紙生合書

常用 西村永壽堂梓



上巻の歩紙生合書は、西村永壽堂の筆による。此の巻は、歩紙生合書の序文である。西村永壽堂は、江戸時代中期の書道家である。歩紙生合書は、江戸時代中期の書道教科書である。西村永壽堂は、歩紙生合書の序文を、西村永壽堂の筆による。此の巻は、歩紙生合書の序文である。西村永壽堂は、江戸時代中期の書道家である。歩紙生合書は、江戸時代中期の書道教科書である。

福生市郷土資料室 平成十五年度特別展

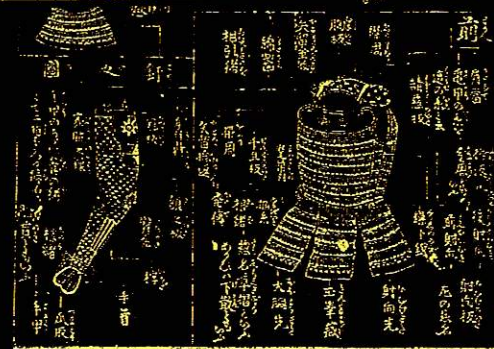
# 江戸の教科書

—往来物と子どもたち—

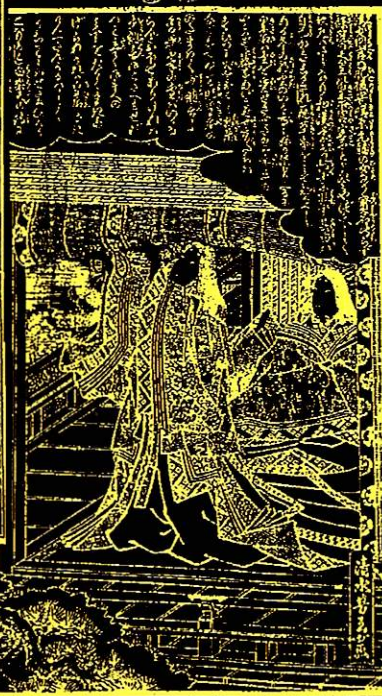
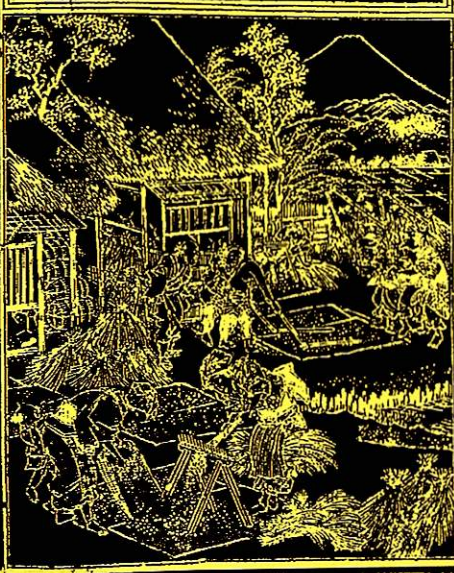


九九の九九

一	二	三	四	五	六	七	八	九
二	三	四	五	六	七	八	九	十
三	四	五	六	七	八	九	十	十一
四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四
七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五
八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七
十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八
十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九
十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一
十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二
十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四
十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五
十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六
十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七
二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八
二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九
二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一
二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二
二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三
二十六	二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四
二十七	二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五
二十八	二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六
二十九	三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七
三十	三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八
三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九
三十二	三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十
三十三	三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一
三十四	三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二
三十五	三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三
三十六	三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四
三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五
三十八	三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六
三十九	四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七
四十	四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八
四十一	四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九
四十二	四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八	四十九	五十



## 新刻百姓往来



寒来暑往 秋收冬藏

百姓往来

福生市郷土資料室 平成十五年度特別展

# 江戸の教科書

— 往来物と子どもたち —

